

筆記試験による修了評価の方法

<p>評価方法及び合格基準</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 出題範囲 <ul style="list-style-type: none"> ・「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。 2 出題形式 <ul style="list-style-type: none"> ・四肢択一形式とする。 3 出題数 <ul style="list-style-type: none"> ・四肢択一問題 25 問 全問正解：100 点満点 4 合否判定基準 <ul style="list-style-type: none"> ・70 点以上 5 不合格になったときの取扱い <ul style="list-style-type: none"> ・不合格者には、補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は7割以上とし、補習料・再評価料は無料とする。
-------------------	--

演習科目の修了評価の方法

<p>評価方法</p>	<p>(9)「こころとからだのしくみと生活支援技術」において実技修了評価を実施する。 評価ポイント10ポイントのうち7ポイント以上を合格とする。</p>
<p>評価者</p>	<p>(9)「こころとからだのしくみと生活支援技術」担当講師が行う。</p>
<p>再履修等の基準</p>	<p>合格点に達しなかった場合は別途補講・修了評価日を設ける。</p>